

令和2年度事業実施報告(国土交通省海事局)

- クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ
- 内外向け航路情報・ルート検索の基盤整備の推進
- マリンチック街道と「new pec smart」の連携
- 海事観光の総合的プロモーション事業
- 海事観光を動画でPR! 「海ココちゃんねる」

令和 2 年 9 月 18 日

海事局 外航課

港湾局 産業港湾課

「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・ 中間とりまとめ」を公表します

我が国において発生した、ダイヤモンド・プリンセス号、コスタ・アトランティカ号の事案を踏まえ、国土交通省では、クルーズの安全・安心の確保のための検討を行って参りました。

この度、感染症・危機管理等の専門家を含む多様な有識者の皆様からの意見を踏まえ、「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ」を公表する運びとなりました。

「中間とりまとめ」の公表に合わせて、関係業界団体が策定したクルーズ船及び受入港の感染症対策に関するガイドライン(国内クルーズを対象とした初版)も公表されました。

今後、これらに基づき関係者によるクルーズの安全・安心の確保のための対策や調整が進むことが期待されます。

1. 中間とりまとめは以下の項目で構成されておりますが、引き続き、最終とりまとめの策定に向け検討を行っていく予定です。

- ①ダイヤモンド・プリンセス号等事案の検証について
- ②クルーズの再開にあたって
- ③関係者の役割分担について
- ④安全・安心確保に向けた具体的措置(その制度化を含む。)について
- ⑤実効性担保のあり方について
- ⑥国際的なルール作りを含む主導的役割のあり方

2. 中間とりまとめの策定に当たって、ご意見を伺った有識者の方々は以下のとおりです(敬称略)。

- | | |
|---------|---------------------------|
| ○赤井 伸郎 | 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授 |
| ○河野 真理子 | 早稲田大学法学学術院教授 |
| ○須野原 豊 | 日本港湾協会理事長 |
| ○高松 正人 | 観光レジリエンス研究所代表(危機管理) |
| ○森 隆行 | 流通科学大学教授 |
| ○森重 俊也 | 日本外航客船協会理事長(前任 小野芳清) |
| ○和田 耕治 | 国際医療福祉大学大学院医学研究科教授(感染症対策) |

※ 上記の他、外国クルーズ船社、港湾関係者からも意見を聴取

3. 関係業界団体が策定したガイドラインにつきましては、以下のとおりです。

「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(令和 2 年 9 月 18 日(初版))」(一般社団法人 日本外航客船協会)

「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン(令和 2 年 9 月 18 日(初版))」(公益社団法人 日本港湾協会)

【問い合わせ先】

国土交通省海事局外航課 仲村、西中(内線 43352)
(直通) 03-5253-8619

港湾局産業港湾課 林、赤城(内線 46432)
(直通) 03-5253-8672

「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ」の概要 国土交通省

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界中で船内感染の発生例が相次ぎ、我が国においても、横浜(ダイヤモンド・プリンセス号)及び長崎(コスタ・アトランティカ号)において、多くの乗船者が感染する事案が発生
- 国土交通省では、クルーズ船の利用者、寄港する港湾の関係者等の安全・安心の確保に向け、感染症、危機管理等の専門家からの意見を踏まえ、関係業界によるガイドライン整備、その実効性を担保するための措置等について検討・整理

I. ダイヤモンド・プリンセス号等事案の検証について

- 船内の感染拡大について、ダイヤモンド・プリンセス号及びコスタ・アトランティカ号事案における、現時点で国土交通省が課題、教訓とする事項を整理
- 再発防止に向けて、**船側に求められる措置、受入港湾側の措置、国土交通省に求められる措置**を整理

II. クルーズの再開にあたって

- 第一段階: 第三者認証取得等準備の整ったクルーズ船と受入港から、**国内のショートクルーズをトライアルとして実施【短期的措置】**
- 第二段階: 上記トライアル結果等を踏まえ、得られた知見をガイドラインに逐次反映した上で、本格的に国内クルーズを実施【短期的措置】
- **国際クルーズについては、水際対策の状況や他国の安全・安心対策との調和に留意しつつ、ガイドラインの検討等所要の準備を進める【継続検討】**

III. 関係者の役割分担について

- クルーズ船の受入判断や有症者・感染者等への対応が求められる際には、**クルーズ船事業者、検疫等の国の関係機関、港湾管理者や保健所等を含む地方自治体との間で、課題の把握と対応を迅速かつ適切に行える体制を構築**
- 万一の事態に備えて、クルーズ船の寄港に関わる関係機関間の**対応訓練を実施**
- 国際クルーズにおける関係国、クルーズ船事業者が果たすべき役割分担のたたき台を提示【継続検討】

IV. 安全・安心確保に向けた具体的措置について

- 国内クルーズの再開にあたり、「船舶ガイドライン」及び「港湾ガイドライン」に盛り込むべき措置
- 港湾管理者等は、クルーズ船の寄港受入に際し、船舶及び港湾ガイドラインへの適合を確認するとともに、**都道府県等の衛生主管部局を含む地域の関係機関で構成される協議会等における合意**を得た上でクルーズ船を受け入れる
- 船内で感染者が確認された場合には、次の寄港地での陸上隔離等を実施後、速やかに下船港(発着港を基本)に向かう

V. 実効性担保のあり方について

- クルーズ船事業者(邦船社)が策定する手順書(マニュアル)の船舶ガイドラインへの適合状況について、**(一財)日本海事協会(NK)が認証を行う【短期的措置】**
- 邦船社については、**海上運送法に基づく安全管理規程に感染症対策(衛生管理規程(仮称))を追加**すること、また、衛生管理規程を遵守することを義務づけ【短期的措置】

VI. 国際的なルール作りを含む主導的役割のあり方

- **外務省等関係機関と連携し、国際海事機関(IMO)における国際ルール作り**も視野に、クルーズ船の安全確保に向けた国際的な議論を我が国が主導【継続検討】

- 成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日閣議決定)において、「クルーズ船と受入港の安全安心確保に係るガイドラインを2020年度を目途に策定する等、再び安心してクルーズを楽しめる環境整備を図る。」としたところ。
- 国土交通省において、感染症や危機管理の専門家等の意見を聞きながら、関係業界が整備するガイドラインなど、クルーズの安全・安心の確保に関する検討を実施。

国土交通省におけるクルーズの安全・安心確保に係る検討・中間とりまとめ(9月18日)

日本外航客船協会ガイドライン (国内クルーズを対象とした初版)

- 乗客の事前スクリーニング
 - ・検温、質問票 など
- 船内の予防策
 - ・マスク着用、手洗い、消毒、健康管理の徹底
 - ・船内施設の座席数減、間隔確保
 - ・換気の実施 など
- 有症者発生時の拡大防止
 - ・船医による診療
 - ・船内隔離、イベント中止 など

日本港湾協会ガイドライン (国内クルーズを対象とした上記ガイドラインに対応)

- クルーズ船の旅客や乗組員、ターミナルビルの従業者の間の感染防止
 - ・症状のある者の入場回避、マスク着用
 - ・列や座席の間隔確保、消毒液配置 など
- ターミナルビルの従業者の感染防止
 - ・健康状態確認 など

船内における感染防止対策
(クルーズ船事業者)

旅客ターミナル等における感染防止対策
(港湾管理者等)

寄港地における受入体制の構築

クルーズ船の寄港検討

情報共有等

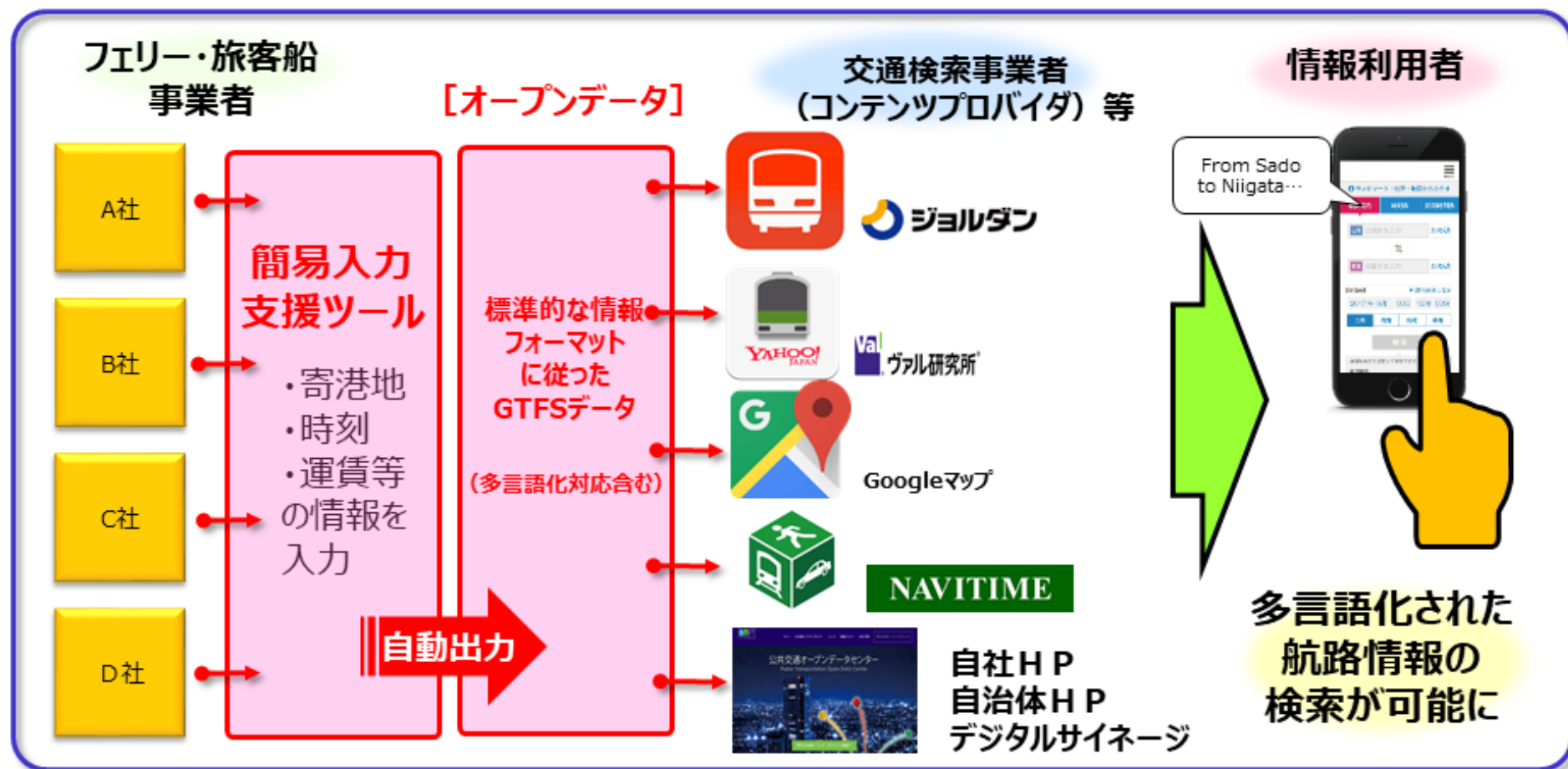
寄港地の関係機関等 ※

※衛生主管部局、港湾関係機関等

「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」の公開

- 2019年4月、「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」、「簡易入力支援ツール」及び「ガイドライン」を作成し、国交省ウェブサイトに無料で公開。
- 同フォーマットは、寄港地、時刻及び運賃等、航路の基本的な情報を標準形式（GTFS）により規定。
- エクセルの「支援ツール」に必要な項目を入力するだけで同フォーマットに従ったGTFSデータが出力、事業者自身による入力負荷が相当に軽減。
- 事業者自身により自社航路情報のGTFSデータをオープン化すること、交通検索事業者等へ提供することが可能。

交通検索事業者等への情報提供及びオープンデータ化フローイメージ




令和元年度フェリー・旅客船航路情報提供等事業について

事業目的

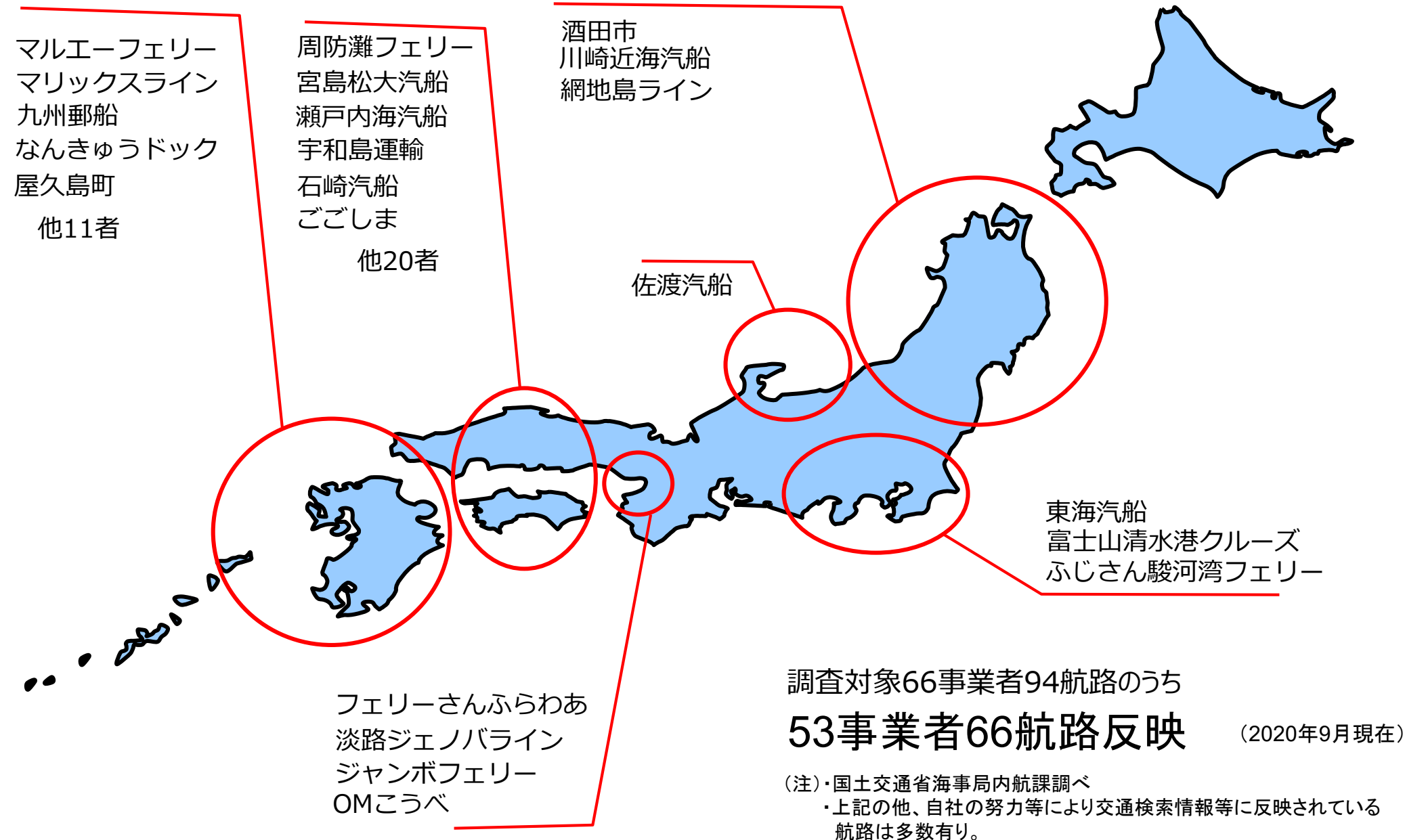
一般旅客定期航路事業者を対象に、航路情報のデータ整備状況や経路検索サービスへの掲載状況等についてアンケート調査を実施。結果に基づいて、「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」の機能向上、事業者に対しGTFSデータ化及び講習会等の支援を行うことで、航路情報のGTFSデータ化促進を図る。

取組成果

- ◆航路情報のデータ整備状況や経路検索サービスへの掲載等に係るアンケート調査
調査の結果、66者94航路にGTFSデータ化の意向ありとの回答。
新ツールのエクセルに必要情報を記入したうえで、事業者にデータとツール一式を送付。
- ◆「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」の機能向上
以下の機能をフォーマット作成ツールに新たに追加。マニュアル等も大幅に改定。
 - ・シェイプ機能（地図上に航路を描写する機能）
 - ・アラート機能（ドックダイヤ、運休等の情報を発信する機能）
 - ・ダイヤ情報の入力簡易機能（カレンダー機能）

 新ツール等は2020年3月にHPにて公開
- ◆GTFS策定・更新のための講習会
講習会は、新型コロナウイルスの影響で中止。
代わりにセミナーで講習予定であった関係者を集め、オンラインセミナーを実施し、その様子を撮影した動画を公開するとともに、ツールの解説動画を作成、公開。

令和元年度調査対象航路の交通検索情報等への反映状況



九州運輸局の取組状況（航路の利用しやすさ向上プロジェクト）

背景・経緯

- 現在、初めて訪れる地域等における公共交通機関の移動では、スマートフォンの経路検索は欠かせないが、経路検索サービスには航路の情報が少なく、移動手段の選択肢として十分に認知されていない状況が見受けられた。
- 航路の認知度向上のためには、経路検索サービスに運航情報等が表示される必要があるが、その手続き等に関して専門的な知識を要するものもあり、事業者単独で実施するには限界があったため、サポート体制の構築が必要であった。

経路検索サービスへの登録に意欲ある事業者に対し海上旅客航路維持活性化・支援推進本部が支援

具体的な支援内容

■西鉄福岡(天神)駅⇒島原港ターミナルへの移動について
西鉄福岡(天神)駅を9:00出発、公共交通機関利用という条件で検索実施



これまで、Googleマップでの検索結果は陸路ルートのみが表示
(最短の所要時間3時間29分、運賃5,940円)

現在、航路に関する経路が表示され、利用者の選択肢が拡大
(航路利用の場合、所要時間2時間45分、運賃3,560円)



登録後

1. 推進本部が行う直接的な支援事業

- ① 航路事業者に対して、経路検索サービス（主にGoogle）の活用メリットを説明し、普及促進に向けた働きかけを実施
- ② 簡易入力支援ツールを活用したGTFSデータ作成の支援等
 - ・ GTFSデータを交通検索事業者へ提供する手続き等に関する助言
 - ・ GTFSデータのオープンデータ化に向けたフォロー 等

2. 地方自治体や地域の交通・観光関係の協議会と連携

各自治体や協議会の取組に連携する形で、当局は、当該事業への積極的な参画に向け航路事業者に対する広報活動を実施。

取組の成果等

- これまでの取組により、令和2年9月1日までに管内の定期航路 94 航路のうち 50 航路が登録完了（H31.2月以降、34航路増加。うち、推進本部直接支援事業が9航路）
- 現在、令和2年度末までに約60航路の登録に向け、取組を進めているところ
- なお、登録した「やまさ海運」からは、登録直後に外国人旅行者を含め、初めての利用客が利用するケースが増え、利用者が対前年同月比で4%増加したとの報告も頂いている。



マリンチック街道とは

- 誰でも気軽にボートレジャーライフを満喫していただくためのクルーズ観光のモデルルート。
- 平成29年度に調査事業を実施し、モデルルートの登録基準を策定するとともに、5つのモデルルートを選定。
- 平成30年度は11ルート、令和元年度は一般の方々に対し公募を行い、7ルートを選定。(現在計23ルート)

new pec smartとは

- (一財)日本水路協会発行の「航海用電子参考図(new pec)」は、小型船舶安全規則に基づき、沿岸小型船舶に備え付けなければならない海図としてみなされており、new pecをスマートフォン等で表示できるようにした(株)マップル・オン社により提供される航海支援アプリ。



国土交通省と(株)マップル・オンが連携し、航海支援アプリ「new pec smart」にマリンチック街道が表示

- 国土交通省海事局及び各地方運輸局にてマリンチック街道のルートをGPX形式のデータで作成。
- 当該GPXデータを「new pec smart」のアプリに取り込むと、アプリ上にマリンチック街道のルートが表示。
- ルートには、変針点や立ち寄りスポットなどの情報が表示されるほか、自身でカスタマイズも可能。



- ・マリンチック街道のクルージングを安心して楽しんでいただくと共に、マリンチック街道の普及が図られる。
- ・現在、マリンチック街道全23ルートのうち16ルートを開発。残り7ルートについても順次公開予定。

画面イメージ (横浜コース)

ルート全体



青線：周遊ルート

ルート拡大



青線：周遊ルート

変針点等の情報

大さん橋沖
 象の鼻方向 Next Point T.B'g/Dist. :
 210°/0.4NM
 港外方向 Next Point T.B'g/Dist. :
 77°/0.4NM
 ※観光船、水上バスの出入りに注意。
 大さん橋と平行に港内に進む。

1. 海事観光の総合的プロモーション事業

背景・現状

- 新型コロナウイルス感染症の影響は深刻であり、まずは官民一丸でこの厳しい状況をしのいでいくことが最優先課題
- 他方、事態終息後には、国内外の観光客を呼び戻し、さらなる観光産業の発展を推進していかねばならない
- 政府・関係機関等による「Go To キャンペーン」等の観光推進施策も活用し、観光需要を沿岸地域に積極的に誘導するためには、**海事観光**というジャンルを国内外に広く認識してもらうための総合的にプロモーションを実施する必要がある

都市部観光地



有名観光地



海事観光地



総合的プロモーション

海事観光地は、大自然の風景や希少な動物など、都市や内陸部にはないダイナミックで魅力あるスポットが多くあるが、関連事業者が少数かつ零細であることが多く、PR活動の不足等により、観光資源を十分に生かし切れていない。個々の観光地のPR活動だけでは限界があるため、海事観光施策として総合的プロモーションを実施する。

STEP 1 : 広報素材の作成



- ・広報ビデオ
- ・WEBページ
- ・ポスター
- ・チラシ

個々の観光地ではなく、「**驚きと新発見**」をコンセプトとして、海事観光全般が印象に残る広報素材を作成

STEP 2 : 効果的な広報活動

多様な手法で幅広い広報活動

- ・ツーリズムEXPO出展
- ・YouTube動画配信 (PR広告)
- ・インフルエンサーとの連携
- ・SNSの活用
- ・写真イベント(有名写真サイト)
- ・Scenic Japanの周知 等

STEP 3 : 旅行計画に誘導

- 旅行業界と連携して、海事観光ツアー商品の開発や、ツアー予約サイト等に誘導する仕組みを検討
- ・じゃらんネット
 - ・いこーよ 等



1-1. プロモーション動画「#海があるから」

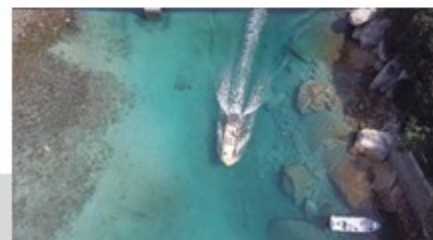
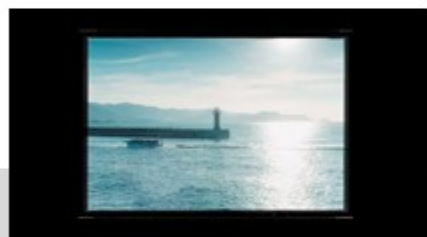


タイトル「#海があるから」
 テーマ「海があるから」出会えた、「驚きと新発見」
 ディレクター 市川 渚 / 映像監督 赤地 剛幸
 本編 2分23秒 / ダイジェスト 30秒
 2020年8月27日公開開始
 これまでの再生数 約7.2万回



ぜひ動画をご覧ください

- 今やスマートフォンは日常で最もよく使うカメラでもあり、誰もが旅先で手軽に写真を撮り、SNSで旅の思い出を共有する時代・・・「観光=写真」
- キャストが旅をしながら様々な海の風景に出会い、写真に残す様子を、ダイナミックで象徴的な海事観光地の写真素材を織り交ぜながら描くストーリー構成



1-2. フォトキャンペーン

有名写真サイト (XiCO) でのフォトキャンペーン

- 「#海があるから」 出会えたとおきの瞬間や場所、視点を捉えた一枚をTwitter、インスタグラムで募集
- 投稿作品の中から、有名フォトグラファー (保井崇志氏) が優れた作品をピックアップし、有名写真サイト等で紹介するフォトキャンペーン (ピックアップ期間 2020年8月27日～2020年9月30日)
- 目的：フォトコミュニケーションを通じた、【海をテーマとした「驚きと新発見」】の拡散



有名写真サイト (XiCO) 内に告知ページを設置



インフルエンサー等を起用したプロモーション



SNS上で集まった作品を有名フォトグラファーがピックアップし、HPやインスタグラムで紹介

投稿作品例

KenT @kentanhashi
初めて降り立った駅にはこんな素敵な景色が待っていました。

#海があるから
#reco_jg



写眞家 右近雄太郎 - Rintaro Ukon - @rintaro_ukon
水面を隔てた別世界
海があるから
人はまた
夢を見られる

#reco_jg #海があるから



インスタグラム



作品紹介ページ



1-3. ツーリズムEXPO 2020(トラベルフェスタ)



名称 ツーリズムEXPOジャパン2020 トラベルフェスタ

開催日 2021年1月7日(木)～1月9日(土)

7日・8日：商談会(西1ホール) ※テーブル・椅子のみ

8日・9日：展示会(西3・4ホール)

会場 東京ビッグサイト

出展ブース：展示会に出展(商談会は展示スペースなし)

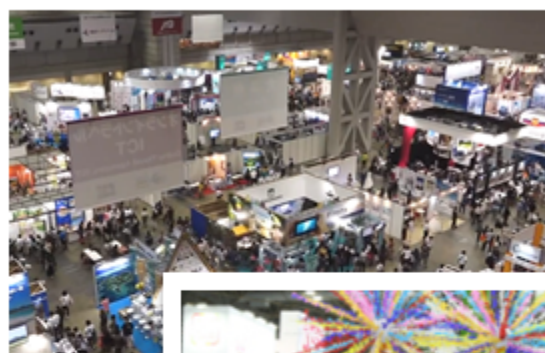
参加バイヤー数：約250社

【ブース方針】

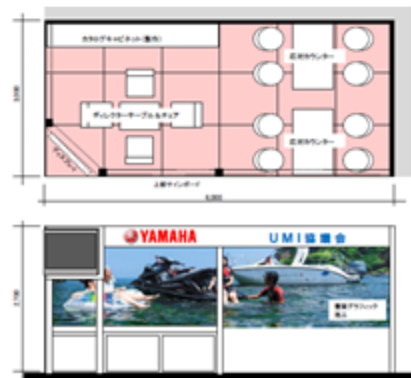
- ・海事観光の魅力を視覚で印象的にPRできるような装飾(壁紙等)
- ・プロモーション動画をプロジェクターで放映
- ・総合的プロモーション、旅客航路、情報サービス等をワンストップで提供
- ・具体的な説明や商談ができるように、商談スペースを用意
- ・旅行関係者(出展者含む)、バイヤー、一般来場者に対応

【出展内容(相談中)】

海事観光・新型コロナウイルス対策PR(海事局)、内航旅客船、外航クルーズ、海マジ!、鉄道・運輸機構(JR TT、共有船)、総合海洋政策事務局、国土政策局離島振興課、STU48(動画出演等)



昨年の出展ブースの例(UMI協議会&YAMAHA共同ブース)



昨年のツーリズムEXPO来場者実績(大阪・関西)

日付	天気	人数
10月24日(木)	曇りのち雨	20,000人(業界日)
10月25日(金)	雨	28,000人(業界日)
10月26日(土)	曇りのち晴	51,000人(一般日)
10月27日(日)	曇りのち晴	51,000人(一般日)
合計		150,000人 (参考：2018年合計：207,000人)

1-3. ツーリズムEXPO 2020(トラベルフェスタ) 海事観光(官民)共同プロモーションブースの出展

◇「海事観光」プロモーション (海事観光全体のイメージアップ・新型コロナウイルス対策)

驚きと新発見
II
「海があるから、みつかった場所・風景」
「海があるから、みつかった視点・アングル」
を通して
海へ思いを巡らせ、
海へ向かう行動へといざなうこと



↓ 具体的提案

◇魅力ある航路・船旅の提案 (例)

◇海事観光サービスの紹介 (例)

飛鳥II
2021年 世界一周クルーズ
30th Anniversary

BEST 100
GOLD SELECTION
NEW CONCEPT
2020年8月1日 “シーパセオ2” 就航
HIROSHIMA - KURE - MATSUYAMA

海マジ! MARINE MAGIC
夏のタダで
思い出をつくろう
19、20歳限定! マリンスポーツ・釣り・クルージング他 無料体験

海にいこーよ
海は最高のあそび場

2. 海事観光を動画でPR！「海ココちゃんねる」

海ココちゃんねる

海事局では、海事観光の魅力や船の楽しさをより多くの方に知っていただく「CtoSeaプロジェクト」の一環として、職員自らが取材・編集を行い、YouTube「海ココちゃんねる」で積極的に発信しています。
アナウンサー歴を持つ海事局職員による新造船潜入レポート、就航披露式典 取材動画など、精力的に発信中！



ナビゲーター
「ココちゃん」

令和2年度取材実績

さるびあ丸

6/25公開

元アナウンサーのレポート技術で
離島航路の大型船の快適さをPR！



SEA PASEO 2

8/5公開

「ヒミツ（非密）」をテーマに、
コロナ禍でも安心して楽しめる船旅をPR！



SEA SPICA

(瀬戸内しまたびライン)

8/25公開

新幹線×船の連携で、快適に、半日
から楽しめる島旅の魅力をもPR！

